

令和8年度 精神科訪問看護研修会～精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会～

受講方法 オンデマンド配信  
申込期間 令和8年4月1日(水)～令和9年1月31日(日)  
受講期間 約2ヵ月間(オンデマンド配信の受講開始メール受信日より起算)  
対象 訪問看護ステーションに従事する保健師・看護師・准看護師・作業療法士  
定員 制限なし  
受講料 会員 15,000円 非会員 25,000円  
後援 厚生労働省

※ 本研修会は全講義受講のみとなります。選択受講はできません。  
※ 精神科訪問看護基本療養費に係る修了証は、すべての講義の視聴および確認テストの合格をもって、オンライン上で発行できます。

| 一般目標(GIO) 精神疾患をもち地域で暮らす人を精神保健医療福祉チームで支援するために、必要な知識・技術・態度を習得する |          |        |  |   |  |   |                                 |  |
|---|----------|--------|--|---|--|---|---------------------------------|--|
| 講義名   | 受講方法     | 講義時間   | 到達目標(SBO)  | 講義内容  | 講師                                     | 厚生労働省が示す研修項目<br>(令2保医発0305第4)                             | 受講料                             |  |
| 精神科訪問看護の実際①(利用者との信頼関係構築、対人関係の援助)                              | オンデマンド配信 | 2時間45分 | 精神科訪問看護の現状と精神科訪問看護のサービス提供までの流れを説明することができる。精神科訪問看護における利用者との信頼関係構築・対人援助の方法を含む基礎的な留意点を述べることができる。                            | 精神障がい者への対応における留意点／セルフケア能力を育む／利用者主体の原則／信頼関係構築のためのコミュニケーション   | 栗田病院看護部長<br>南方 英夫 氏                    | (オ)利用者と信頼関係構築、対人関係の援助                                     | 会員<br>15,000円<br>非会員<br>25,000円 |  |
| 精神科訪問看護の実際②(日常生活の援助、症状悪化の早期発見)                                | オンデマンド配信 | 2時間25分 | 精神科訪問看護における日常生活の援助のあり方について基礎的な留意点を述べるができる。精神科訪問看護における、症状悪化の早期発見の状況を説明することができる。   | 精神科訪問看護の基礎的な留意点／精神障がい者の疾患を有する者に関するアセスメント／利用者の生活史や入院歴、現在の病状や服薬の状況等について情報収集し、変化に対応する／再発を予防しQOLを高める支援を行う   | 栗田病院看護部長<br>南方 英夫 氏                    | (ア)精神疾患を有する者に関するアセスメント<br>(イ)病状悪化の早期発見・危機介入<br>(カ)日常生活の援助 |                                 |  |
| 精神科訪問看護の実際③(危機介入、医療継続の支援)                                     | オンデマンド配信 | 1時間45分 | 精神科訪問看護における、症状悪化の危機介入の状況を説明することができる。医療継続への支援方法を具体的に述べることができる。  | 悪化の兆候をアセスメントし対処行動を共有する／早めに危機介入のタイミングを検討し、クライシスプランにつなげる／医療継続の動機づけや主治医との関係性を把握し、助言する／家族への支援   | 栗田病院看護部長<br>南方 英夫 氏                    | (イ)病状悪化の早期発見・危機介入<br>(工)医療継続の支援                           |                                 |  |
| 精神科リハビリテーションの概念と実際  | オンデマンド配信 | 2時間15分 | 精神科リハビリテーションの概念と実際を説明することができる。地域における多職種の活動を述べるができる、連携するための方法を具体的に述べることができる。  | 社会活動参加への支援／多職種の役割の理解と連携について／精神科リハビリテーションの概念と取り巻く状況  | 帝京平成大学健康医療スポーツ学部作業療法学科准教授<br>勝嶋 雅之 氏   | (キ)多職種との連携  |                                 |  |
| 精神障がい者の理解・精神科疾患における薬物療法                                       | オンデマンド配信 | 2時間45分 | 精神障がい者の疾患・精神症状および薬物療法・服薬管理・副作用の基本的知識を述べるができる。  | 精神疾患について／薬の作用・効果、副作用について／利用者に合わせた服用方法などへの支援(精神科薬物療法に関する援助)／多職種との連携について  | 国立健康危機管理研究機構<br>国立国府台医療センター<br>佐竹 直子 氏 | (ウ)精神科薬物療法に関する援助<br>(キ)多職種との連携                            |                                 |  |
| 保健・医療サービス提供システム   | オンデマンド配信 | 2時間10分 | 精神保健医療体制を含む精神保健医療福祉制度の現状と動向を説明することができる。利用者・家族を地域で支えるための社会資源や利用可能な制度の活用方法を説明することができる。相談できるネットワークを構築するための方策を具体的に述べることができる。 | 精神保健医療体制について／精神保健医療福祉制度の現状と動向／地域の中での精神保健医療体制のあり方について／多職種との連携について  | 社会福祉法人ソラティオ 次長<br>小泉 宏和 氏              | (キ)多職種との連携  |                                 |  |
| 精神科訪問看護の理解とアセスメント   | オンデマンド配信 | 5時間20分 | 精神科訪問看護を取り巻く状況や歴史、背景、および精神科訪問看護の目的を説明することができる。   | 精神障がい者の現状／精神科訪問看護を取り巻く状況や関連する制度／精神科訪問看護の効果／多職種との連携について  | 国立看護大学校長<br>萱間 真美 氏                    | (キ)多職種との連携<br>(ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法                      |                                 |  |
| 精神科訪問看護におけるGAF評価  | オンデマンド配信 | 3時間30分 | GAF評価の仕組みとポイントを具体的に述べるができる。主要な精神疾患の特徴を理解し、疾患特性に応じたGAF評価を行うことができる。実際の訪問看護場面において、適切なAF評価を実施できる。                            | GAFとは／GAFを用いた評価の仕方／「精神疾患の診断・統計マニュアル(第5版)」に基づく主要症状と状態像／典型例を用いたGAF評価(統合失調症、気分障害(うつ状態・躁状態)、自閉症スペクトラム)／安定期・状態増悪時・入院時・退院後初回の訪問看護場面におけるGAF評価の実施 ※自己学習課題あり | 高知県立大学看護学部准教授<br>精神看護専門看護師<br>畠山 卓也 氏  | (ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法                                    |                                 |  |